

コンクリート面及び押出成形セメント板面

7章8節: 耐候性塗料塗り(DP) Vフロン#200上塗

公共仕様No.
DNT-改修・8-3-09

使用材料一覧表

	規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JASS 18 M-201 反応形成樹脂ワニス	マイティーエポシーラークリヤー	F☆☆☆☆	エポニックスシンナーA
2	JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料 1級	Vフロン#200上塗	F☆☆☆☆	Vフロンシンナー

塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1	-			ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しづらい弱い部分を除去する。
2	-			素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3	-			特記による。
4	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
5	JASS 18 M-201	反応形成樹脂ワニス	2液形エポキシ樹脂ワニス	全面に塗り付ける。

- (注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。
 2. 2液形エポキシ樹脂ワニスは、上塗り塗料製造所の指定するものとする。
 3. 新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。
 4. JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。
 5. 屋内で現場塗装をする場合、工程5の吸込止めを使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.8.3 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り【A-1種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(% (重量比))	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1	マイティーエポシーラー	クリヤー	主剤50: 硬化剤50	30~50	刷毛 ローラー	0.08	16時間以上
				30~50	スプレー		
2	Vフロン#200 上塗	各色	主剤90: 硬化剤10	10~30	刷毛 ローラー	0.14	12時間以上
				20~30	スプレー		
3	Vフロン#200 上塗	各色	主剤90: 硬化剤10	10~30	刷毛 ローラー	0.10	-
				20~30	スプレー		

7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整
 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。
 ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

7.8.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り
 コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗りは、表7.8.3により、種別は特記による。

※1標準仕様書では中塗りとしてJASS 18 M-405 常温乾燥形ふっ素樹脂塗料用中塗りを記載されていますが、弊社としては「Vフロン#200上塗」を
 お勧めします。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。